

市の状況（統計グラフ）

この資料は、計画書に掲載する施策内容に関連する統計グラフのたたき台です。
順次、最新データに更新・作成していきます。

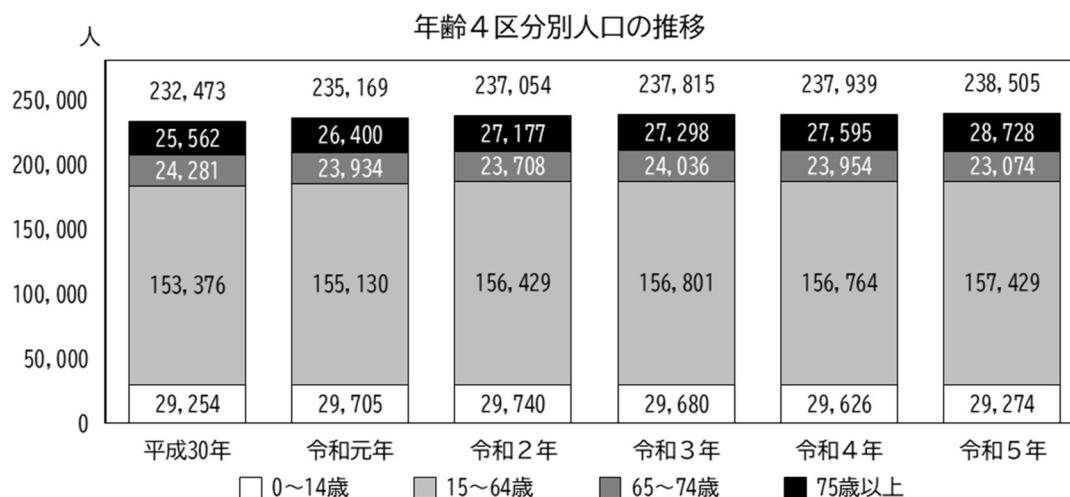
市の状況（統計グラフ）	1
1 人口の状況	2
(1) 人口の状況	2
(2) 自然動態と社会動態の状況	4
(3) 合計特殊出生率の状況	5
(4) 高齢化率の状況	5
(5) 人口推計	6
2 世帯の状況	7
(1) 世帯の状況	7
(2) ひとり親世帯の状況	8
(3) 高齢者のいる世帯の状況	8
3 地域活動・資源の状況	9
(1) 自治会・地区協議会等の状況	9
(2) ボランティアの状況	10
(3) ひだまりサロンの状況	10
4 支援を必要とする人の状況	11
(1) 要支援・要介護認定者の状況	11
(2) 障害者手帳所持者の推移	11
(3) 保育所・学童クラブの状況	12
(4) 生活保護の状況	13
(5) 相談状況	13
(6) 地域福祉コーディネーターの活動状況	14
(7) 成年後見の状況	14

Ⅰ 人口の状況

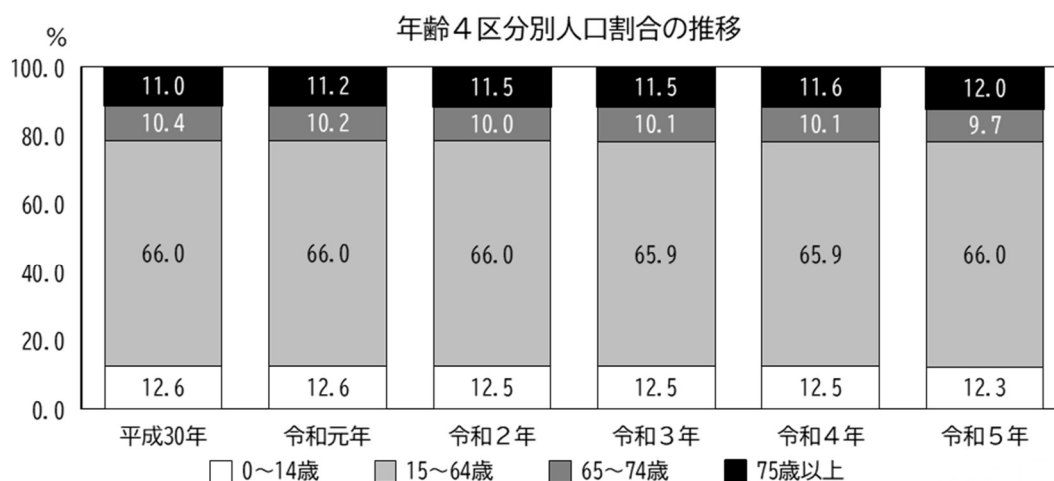
(1) 人口の状況

人口は年々増加しており、平成30年から約6,000人増加し、令和5年に238,505人となっています。

年齢4区分別にみると、0～14歳は横ばい、15～64歳は約4,000人増加、65～74歳は約1,200人減少、75歳以上は約3,000人増加しています。

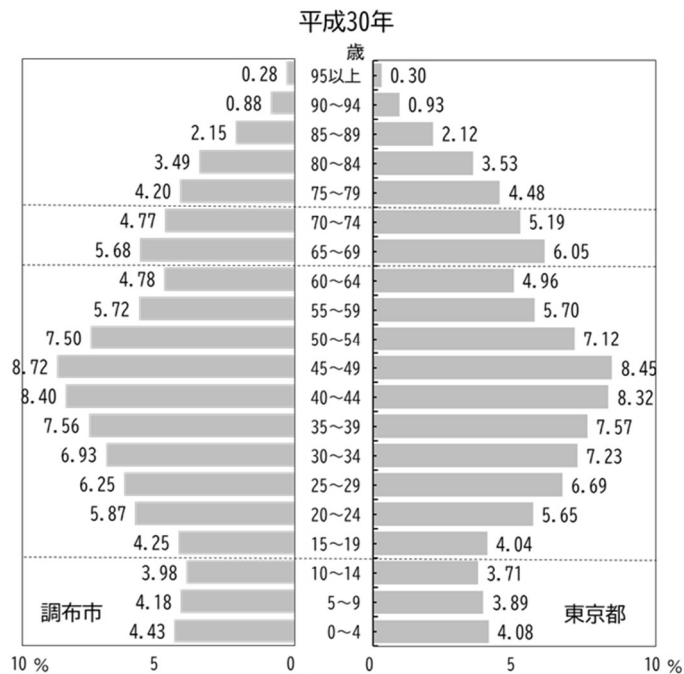


平成30年から令和5年にかけての年齢4区分別人口割合の推移は、0～14歳は-0.3ポイントの微減、15～64歳は横ばい、65～74歳は-0.8ポイントの微減、75歳以上は+1.0ポイントの増加となっています。

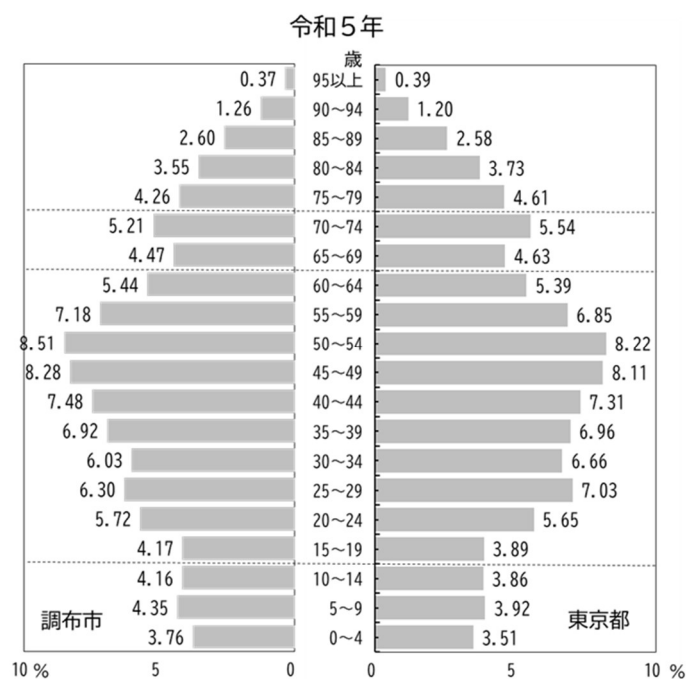


本市と東京都の人口構造（総人口を100%とした比率）は概ね同じような構造です。平成30年と令和5年の人口比率で特に顕著な動きは、本市、東京都ともに30～49歳と65～69歳が減少，50～59歳が増加しています。また，0～4歳も減少しています。

人口ピラミッドの推移



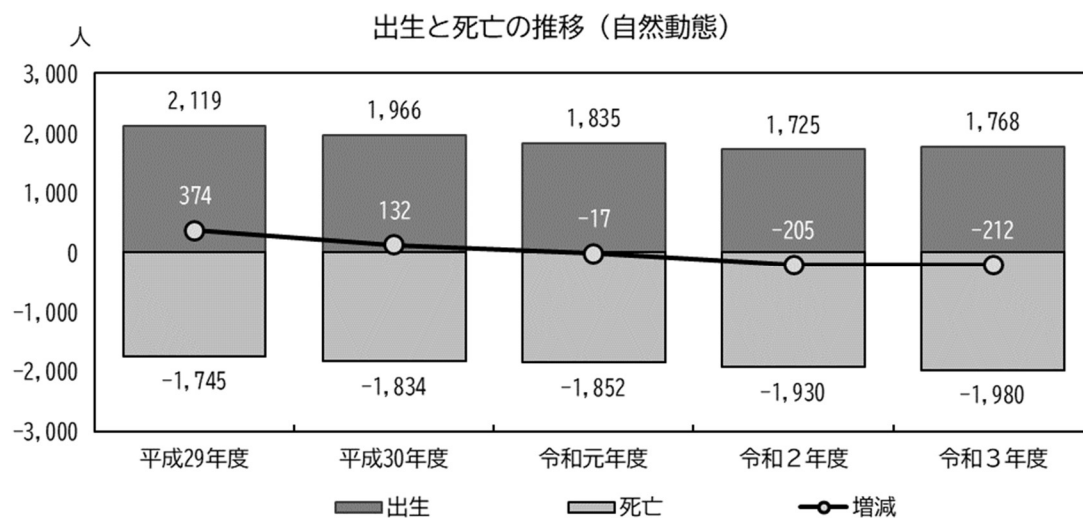
資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（1月1日現在）



資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（1月1日現在）

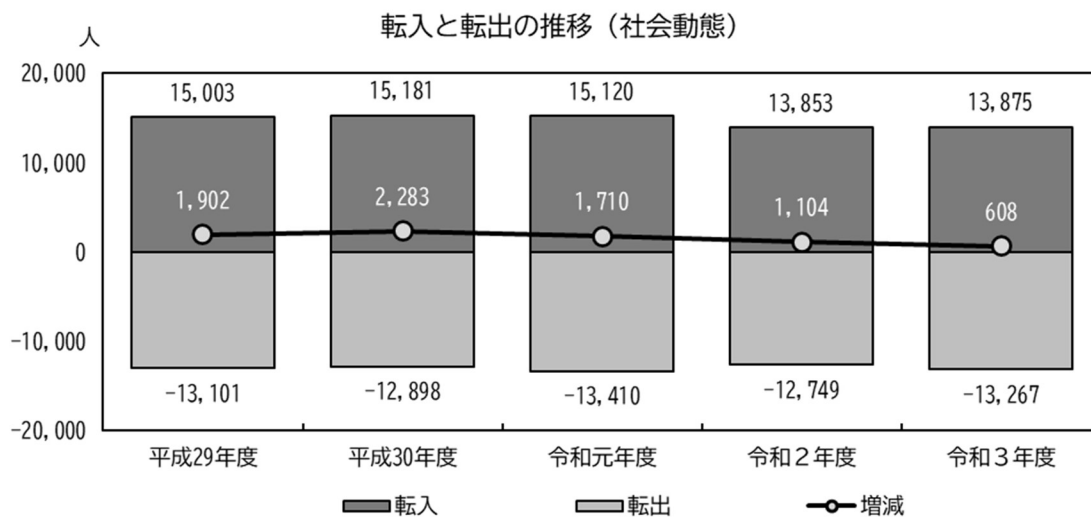
(2) 自然動態と社会動態の状況

出生・死亡の自然動態は、平成29年度の374人増でしたが、令和元年度に死亡数が出生数を上回る自然減になり、令和3年度は-212人減と自然減が少しずつ大きくなっています。



資料：調布市統計書（日本人）

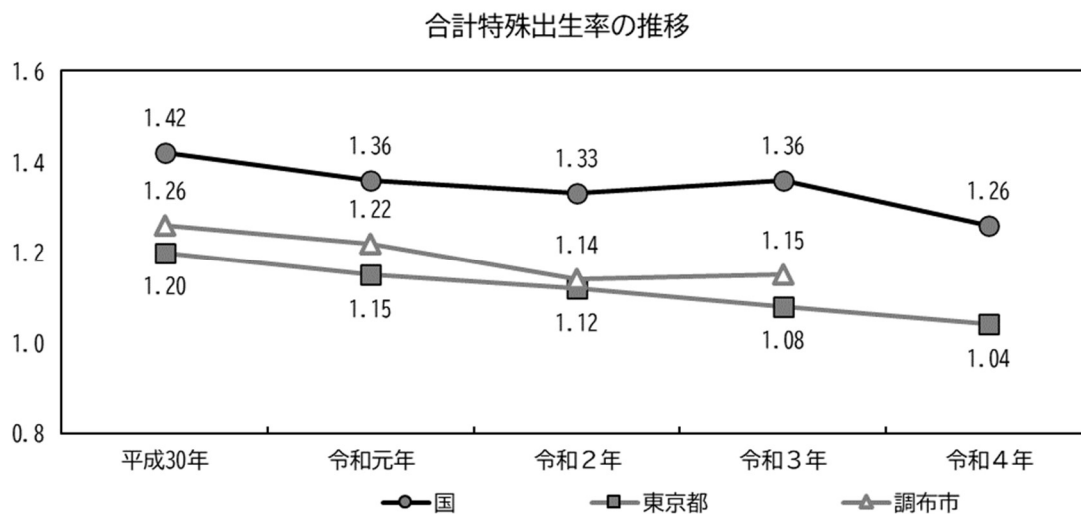
転入・転出の社会動態は、平成29年度の1,902人増から令和3年度は608人増になり、増加数（転入超過）が低下傾向にあります。



資料：調布市統計書（日本人）

(3) 合計特殊出生率の状況

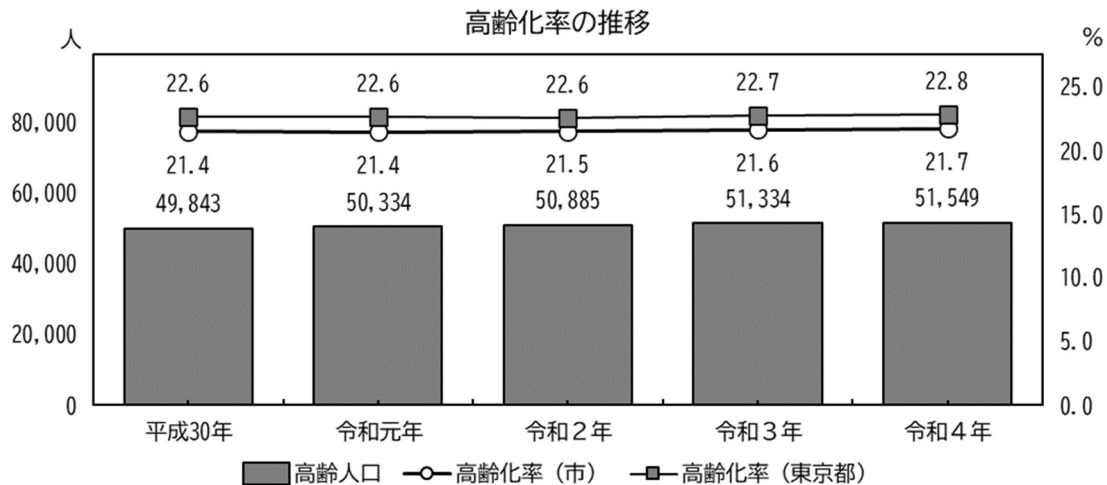
合計特殊出生率は、平成30年以降、国、東京都と同様、低下傾向にあります。また、毎年、東京都をわずかに上回りますが、国よりは低い状況です。



資料：市：東京都人口動態統計（令和3年），国・都：厚生労働省人口動態統計月報年計（概数）の概況

(4) 高齢化率の状況

高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は緩やかに上昇し、令和4年は21.7%となっています。また、東京都に比べるとやや低く推移しています。

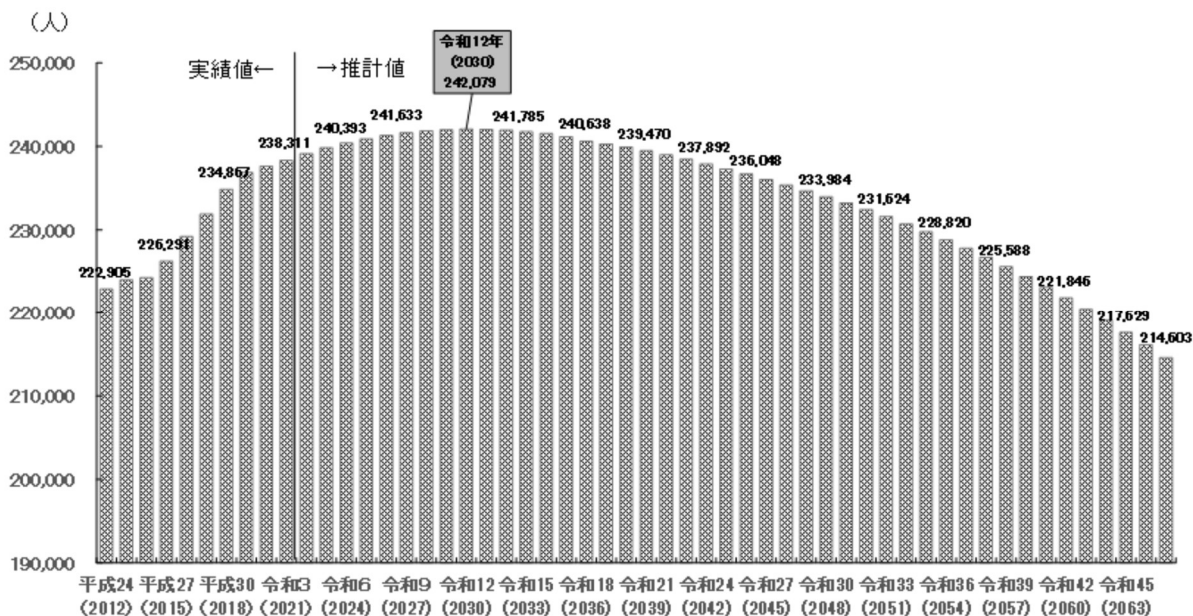


資料：住民基本台帳に基づく人口，人口動態及び世帯数調査（各年1月1日現在）

(5) 人口推計

市の将来人口はしばらくは緩やかに増加を続けることが予想されますが、徐々に増加幅は縮小し、令和12(2030)年に242,079人をピークに減少に転じることが見込まれています。

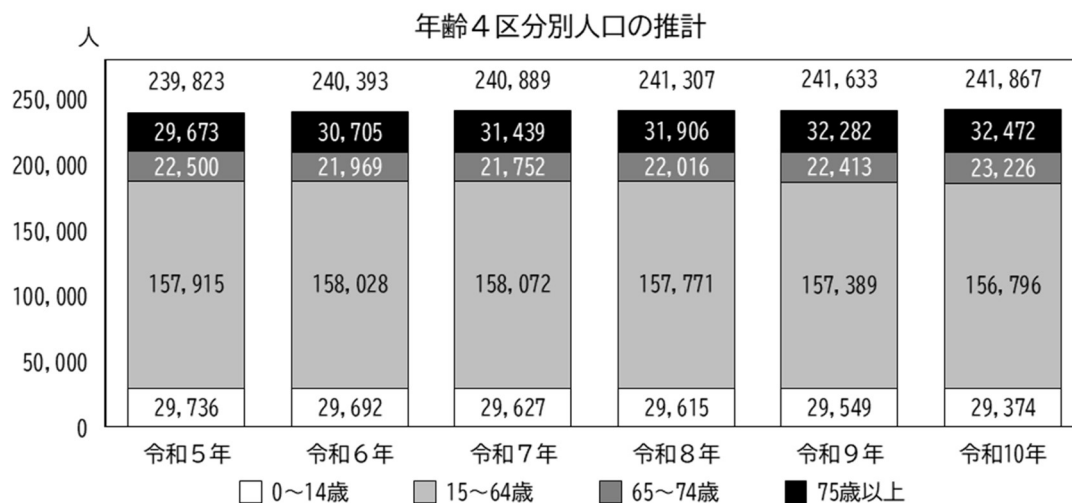
市の将来人口



※令和3年までは実績値(住民基本台帳人口(外国人を含む)(各年10月1日現在))

資料: 調布市基本計画

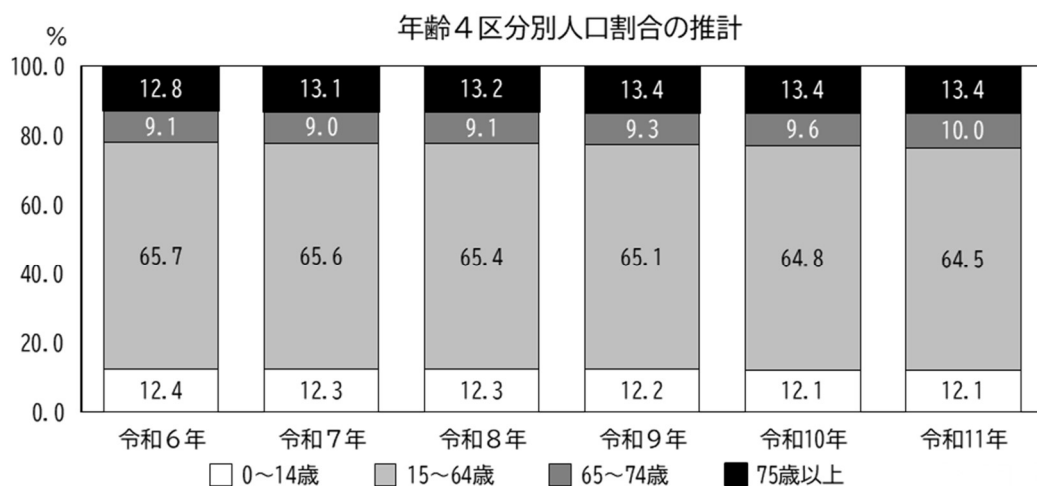
計画期間の年齢4区分別人口の推計をみると、65歳以上は増加、64歳未満は横ばいか減少することが見込まれています。



資料: 調布市の将来人口推計(令和4年3月)

※令和3年10月1日を基準年とした推計

年齢4区分別人口割合の推計をみると、65歳以上の割合が増加し、高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は23.4%に上昇することが見込まれています。



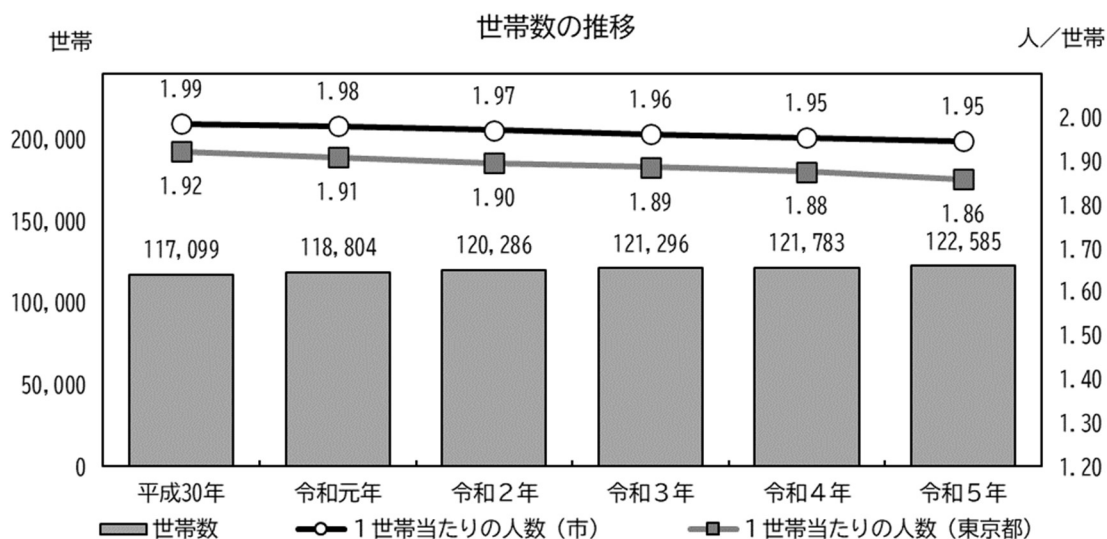
資料：調布市の将来人口推計(令和4年3月)

※令和3年10月1日を基準年とした推計

2 世帯の状況

(1) 世帯の状況

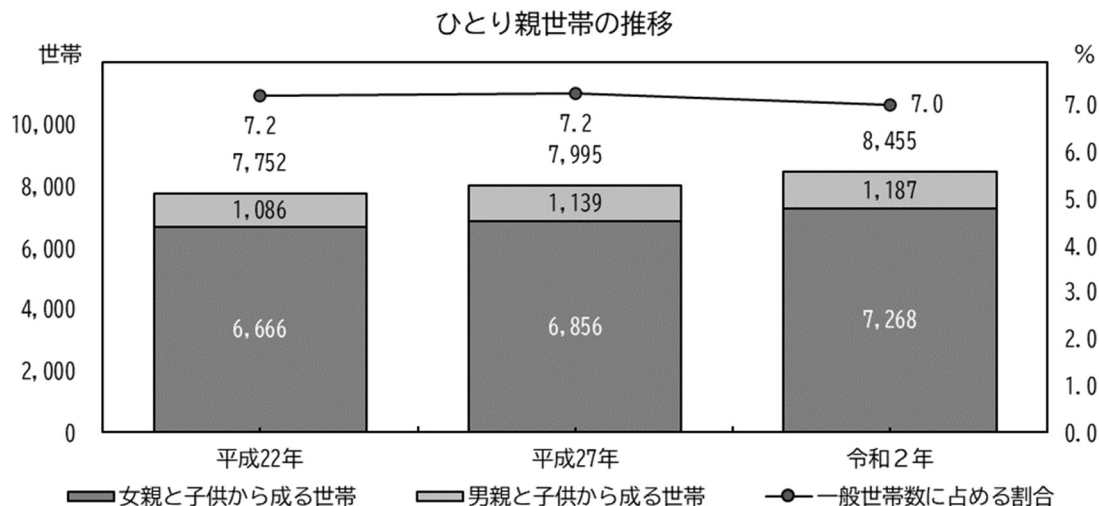
世帯数は、平成30年から約5,500世帯増加し、令和5年に122,585世帯となっています。1世帯当たりの人数は、東京都をわずかに上回るものの、緩やかに減少し、令和5年は1.95人/世帯となっています。



資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（各年1月1日現在）

(2) ひとり親世帯の状況

平成22年と令和2年を比較すると、女親と子供から成る世帯は602世帯、男親と子供から成る世帯は101世帯がそれぞれ増加しています。令和2年のひとり親世帯は合計で8,455世帯となり、一般世帯数に占める割合は7.0%となっています。



資料：国勢調査

(3) 高齢者のいる世帯の状況

(データ掲載予定)

ひとりぐらし高齢者数・高齢者世帯数

区分	ひとりぐらし高齢者数 ※1			高齢者世帯数 ※2
	男	女	合計	
平成26年度	1,163人	3,874人	5,037人	4,017世帯
平成29年度	1,300人	3,887人	5,187人	4,134世帯

資料：世帯状況調査

※世帯状況調査：平成26年は11月1日現在，平成29年は新たに対象となった方は4月1日現在，それ以外の方は8月1日現在。

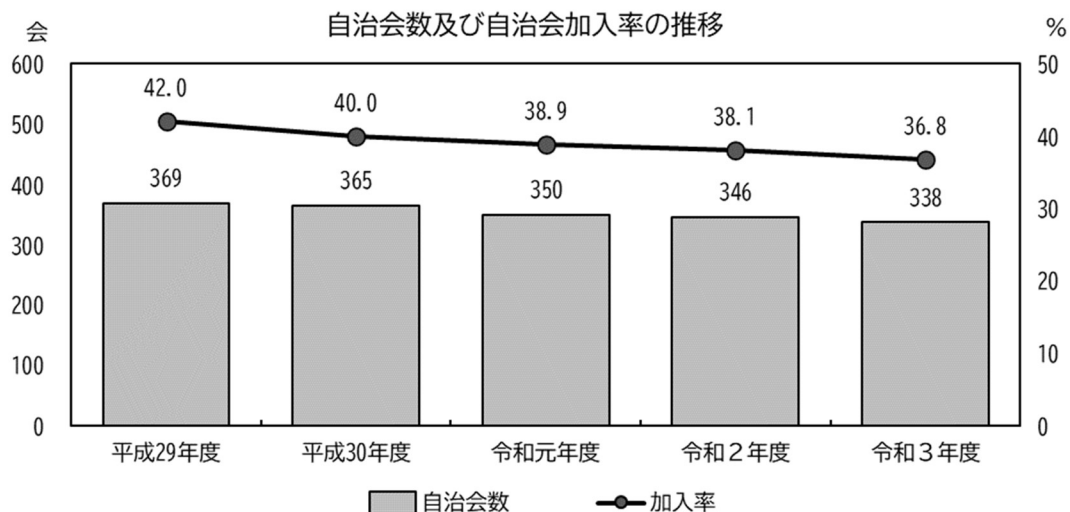
※1 ひとりぐらし高齢者：住民票上1人で世帯を構成し，居住実態もひとりぐらして70歳以上の方

※2 高齢者世帯：住民票上70歳以上のみの世帯で，居住実態も70歳以上のみ複数人世帯の方

3 地域活動・資源の状況

(1) 自治会・地区協議会等の状況

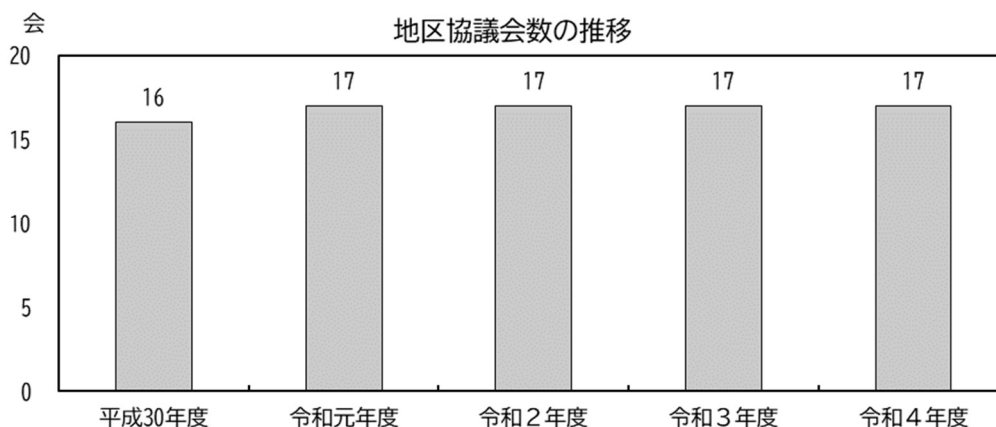
自治会数及び自治会加入率は、平成29年度から減少しており、令和3年度は338自治会、自治会加入率36.8%となっています。



資料：調布市基本計画（令和5年3月）

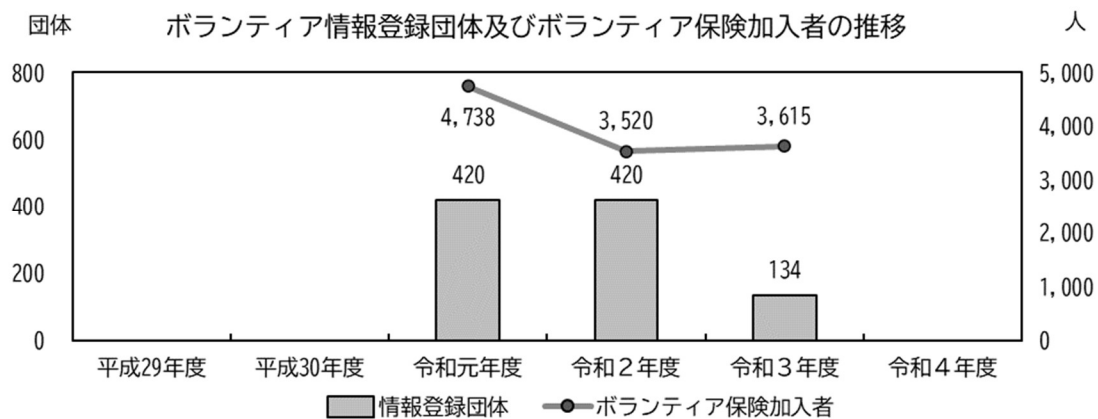
小学校区をコミュニティエリアとする地区協議会は、平成11年に初めて設立されて以降、令和4年度は17地区まで広がり、活動が行われています。

※地区協議会は、地域で活動する各種団体や地域住民が連携・協力し、地域のまちづくりのために自主的に活動するネットワーク組織。令和4年度現在、市内20の小学校区のうち、17地区で設立。



資料：調布市基本計画（令和5年3月）

(2) ボランティアの状況
(データ掲載予定)



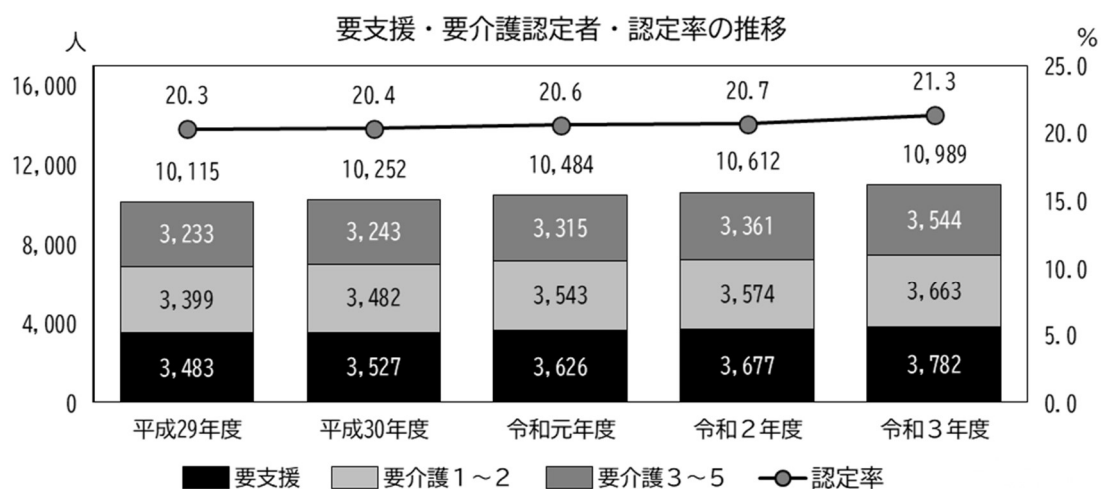
資料：調布市社会福祉協議会事業報告書

(3) ひだまりサロンの状況
(データ掲載予定)

4 支援を必要とする人の状況

(1) 要支援・要介護認定者の状況

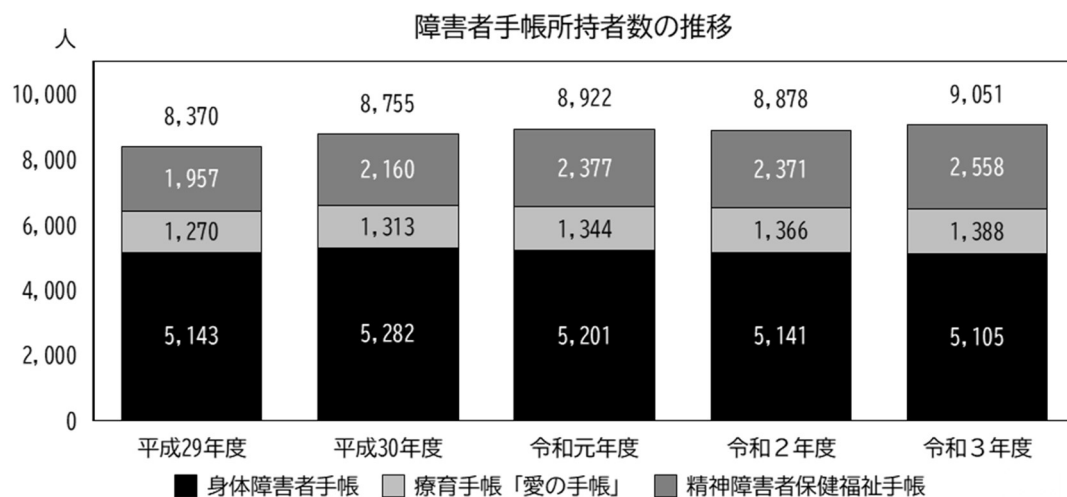
介護保険の要支援・要介護認定者数は、平成29年度から約800人増加し、令和3年度は10,989人となっています。認定者数の増加に伴い認定率も上昇し、令和3年度は21.3%となっています。



資料：調布市統計書（各年度3月31日現在）
住民基本台帳による東京都の世帯と人口（各年1月1日現在）

(2) 障害者手帳所持者の推移

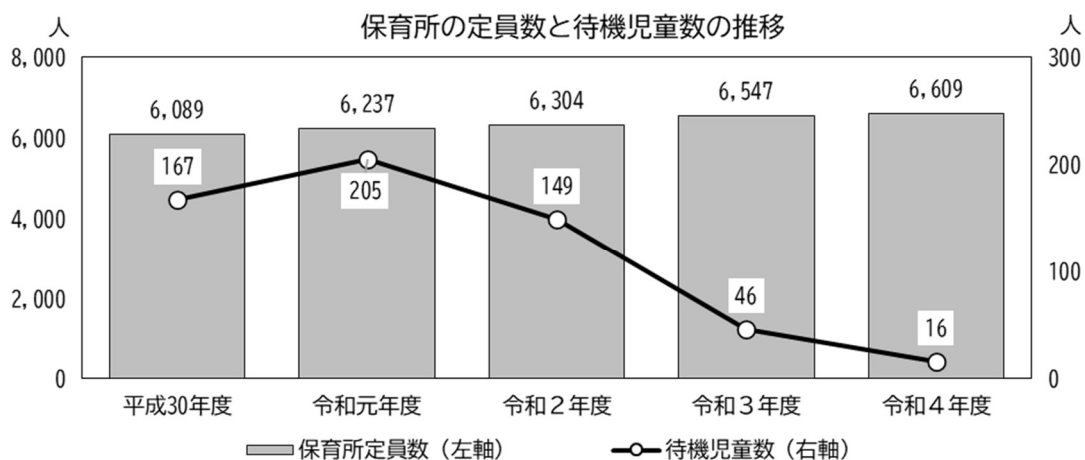
障害者手帳所持者数は、平成29年度から700人近く増加し、令和3年度は9,051人となっています。この中で療育手帳「愛の手帳」所持者数が平成29年度から118人、精神障害者保健福祉手帳所持者数が同601人増加しています。



資料：調布市統計書（各年度3月31日現在）

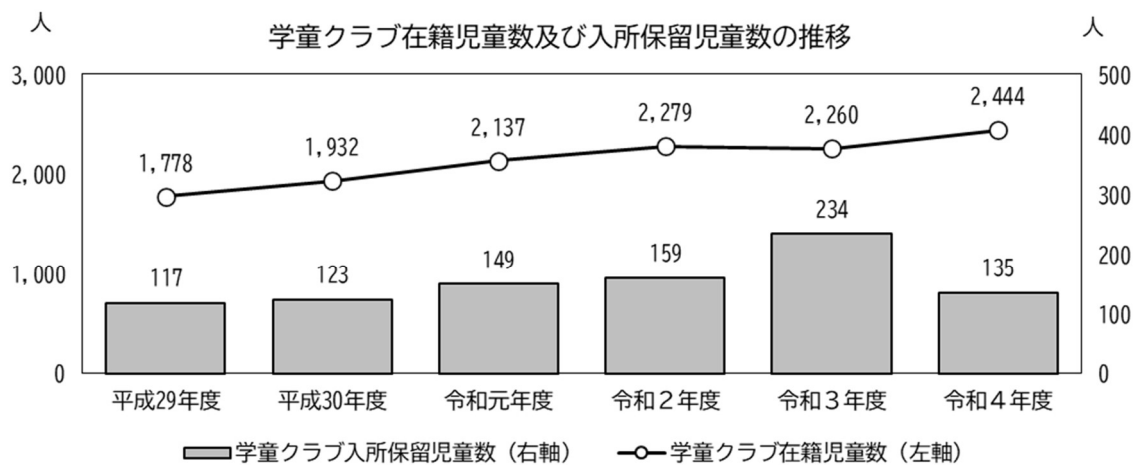
(3) 保育所・学童クラブの状況

保育所定員数の増加に伴い、待機児童数は減少し、令和4年度は16人となりました。



資料：第2期調布っ子すこやかプランー令和3年度実績報告ー

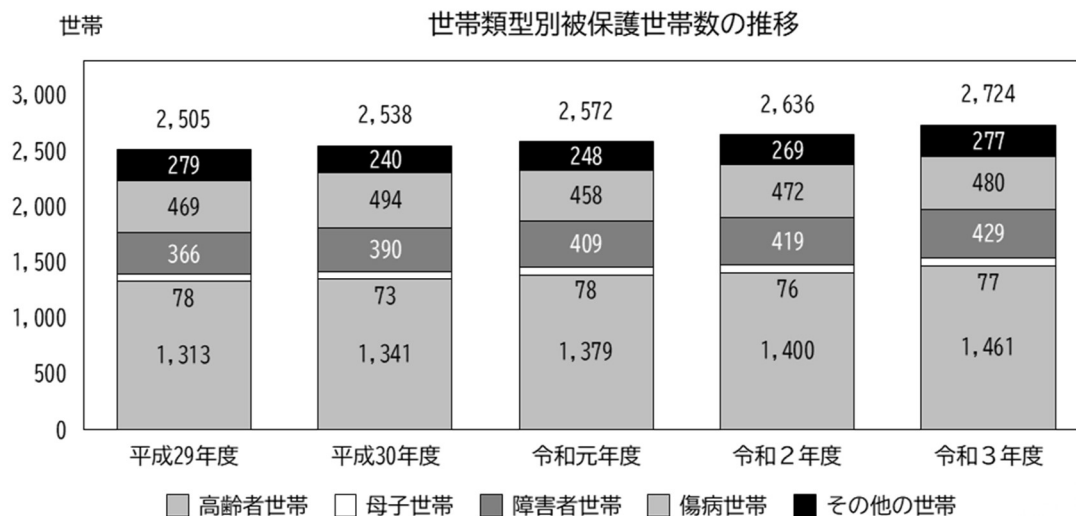
小学校1～6年生の学童クラブ在籍児童数は増加傾向にあり、令和4年度は2,444人となりました。一方で、入所保留児童数も増加傾向にあり、令和3年度は234人に急増しました。令和4年度は再び減少、135人となっています。



資料：第2期調布っ子すこやかプランー令和3年度実績報告ー

(4) 生活保護の状況

生活保護世帯数は、平成29年度から「高齢者世帯」や「障害者世帯」を中心に増加しており、令和3年度は合計で2,724世帯となっています。



(5) 相談状況

調布ライフサポート（生活に関する相談窓口）は、生活にお困りの方に対するトータルな相談窓口です。令和2年度から新規相談受付件数が急増した背景には、新型コロナウイルス感染症流行による経済への影響があると考えられます。

調布ライフサポートでの相談（生活困窮者自立相談支援事業）

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規相談受付件数（件）	348	510	3,774	1,349	
支援プラン作成件数（件）	58	87	177	194	
就労支援対象者数（人）	57	82	176	194	
就職者数（件）	50	62	153	167	
就労準備支援対象者数（人）	-	31	46	53	
家計改善支援対象者数（人）	-	15	9	19	

資料：調布市事務報告書（生活福祉課）

※就労支援対象者数は、支援プラン作成件数の内数

※就職者数は、前年度から継続支援している対象者も含まれる

※就労準備支援対象者数及び家計改善支援対象者数は令和元年度から開始

ここあ（調布市子ども・若者総合支援事業）は、家庭の事情により、進学や就職をあきらめてしまうことがないように、子ども・若者に対して、学習支援や居場所の提供を行うとともに、進学や自立に向けた相談を行っています。

（データ掲載予定）

（６）地域福祉コーディネーターの活動状況

地域の課題やニーズを発見し、受け止め、地域の資源（情報・人・場所等）をつなぎ、地域で生活を支える人のネットワークの中心になる地域福祉コーディネーターがおり、分野横断的な相談に応じています。地域福祉コーディネーターの配置人数も増やしており、令和元年度からは８人に拡充しています。

（データ掲載予定）

（７）成年後見の状況

（データ掲載予定）